

**教育セミナー**

2月11日(日)

第3会場 13:00～14:00

教育セミナー1

**心臓構造からみたヒス束ペーシング**

演者 井川 修 日本医科大学多摩永山病院内科・循環器内科

ヒト心臓およびその周辺構造を剖検心で詳細にみていくと、日常臨床の場において気づいていない部分が多いことに驚く。また、ときとしてこれまでに報告されてこなかった新しい構造物に遭遇することもある。ヒス束およびその周辺構造も同様である。確立された当然のものとしてなげなく取り扱ってきた構造も、再度詳細に調べてみると、その構造の中に新たな特殊領域があることに気づく。電気生理学的にも、さらなる検討が必要な部位であることが再認識される。近年、ヒス束（近傍）領域でのペーシングの有用性と安全性が議論されている。本セミナーでは、この領域の構造を基礎から確認し、臨床の場においてこの領域とどのように向かい合うべきかを検討したうえで、ヒス束ペーシングの展望について構造の立場から考えてみたい。

2月12日(月)

第1会場 9:30～10:30

教育セミナー2

**心臓構造からみたデバイス治療(挿入/留置・抜去)のピットフォール**

演者 井川 修 日本医科大学多摩永山病院内科・循環器内科

教育セミナー1では、心臓構造、とりわけヒス束およびその（近傍）領域とデバイス治療との構造的な関連を提示するが、教育セミナー2では、それ以外の部位とデバイス治療（挿入/留置・抜去）との関連を提示する。

正確に正常右心系構造（静脈系を含めた右房・右室・肺動脈）を再確認し、そのAnomalyを紹介しながらデバイス治療のピットフォールを紹介する。その後、デバイス治療（挿入/留置・抜去）の合併症（心臓穿孔、三尖弁逆流、右血胸その他）出現機序について構造的に検討し、あるべき安全なデバイス治療について考えてみたい。